

令和7年度 第3回 文京区立中学校部活動地域連携・地域移行に係る検討会議 記録の概要

日時：令和7年10月10日(金)18時30分から20時15分まで

場所：文京シビックセンター20階 教育委員会室

○部活動の地域展開における他自治体の例（資料1）

【事務局からの説明】

- ・本区で部活動の地域展開の始めの一歩として目指している形は印西市に近いが、大会への参加は学校ごとを基本とする点で印西市と異なる。

【委員長による補足】

- ・印西市では基本的には拠点校形式を採用しているのが特徴だが、種目の決定が難しい。
- ・ユニフォームや送迎など、保護者の方からかなり問合せがあり、事業者や担当部署で説明会を実施した。なお、ユニフォームはチームのものを作成することになったが、その購入費は誰が出すのかという問題も出た。

【主な意見等】

- ・文京区の方針も変わっていくなかで、保護者や議会関係に情報や意図が正しく的確に伝わっていないと思う場面もある。整理がまだできていないなかでこのまま進めてよいものか。混乱を招く事態になりかねない。
-3月のPTA連合会と秋のPTA連合会に参加したいと思っている。保護者への説明は次第6で説明する。課題意識をもって取り組んでいく所存。
- ・印西市は生徒数の多い地域がはっきりしているのでグルーピングしやすい。区ごとの事情は重要なので慎重に見極めるべき。印西市は現場の先生方にかなりヒアリングした。

○「部活動の地域展開における国による検討状況」（資料2）

【事務局からの説明】

- ・資料2では「受益者負担」と「地域クラブ活動に関する認定制度」について国から示された基準などを記載。
- ・「公的負担」について、区で負担するところはもちろんだが、できる限り都や国の補助金を得られるよう尽力する。
- ・本区で進めている「休日のクラブ活動」については当面の間は無料を予定しているが、平日の地域展開を進める際は、「受益者負担」についてはしっかりと検討する必要があると考えている。

○『文京区立中学校部活動地域移行実施計画2026（素案）』パブリックコメント

【事務局からの説明】

- ・パブリックコメントの受付は8/1から9/1まで行い、9名17件のご意見をいただいた。
- ・今後の流れとしては、11月の教育委員会及び議会にて素案を修正した実施計画2026の最終版を報告し、年内に策定する予定。

○「文京区立中学校部活動地域展開実施計画 2026」（案）（資料 4・5）

【事務局からの説明】

- ・資料4は、これまでいただいた意見や要望等（8月実施のパブリックコメントに寄せられたものも含む）を踏まえ、修正した最終（案）。
- ・素案からの変更点は資料5の新旧対照表のとおり。

【主な意見等】

- ・資料5P.7「重点戦略1 【3年間の取り組み】」について。変更前と案が異なっているが、目途が立ったということか。
-スポーツ交流ひろばに限定せず拠点校形式の方が実情にあってると思った。また、パブリックコメントで指導者確保に不安の声が見られたので追記した。
- ・資料⑤のP.5「7（1）重点戦略1 「地域クラブ活動の土台作り」」について。学校ごとの選択を想定か。それとも部活ごとの選択か。
-学校内でも部ごとの特徴や状況が違うため、部ごとで方針を決めていただく予定。基本的には令和8年度から休日は地域クラブの発足を想定しているが、休日の活動を続けたい部活は続けてよい。
 - ・PTAや地域の方々、議会から理解を得られているのか疑問。丁寧な説明が重要だと思う。
 - どのような方法で周知徹底するか検討していく。

○運動部活動の「地域展開」に関する今後の予定（資料6）

【事務局からの説明】

- ・校長・副校長に対しては、9月に各中学校を訪問し直接説明をした。
- ・12月に公開開始する生徒説明用動画の説明方法は、今後校長会と調整する。
- ・令和8年1月実施の意向調査では、来年度の2学期から実施予定の休日の地域クラブ活動について、どの学校のどの部が参加することになるのか、どの部が部活動を継続させることになるのかを明らかにすることを目的とする。
- ・4月実施の意向調査では、9月から始まる休日のクラブ活動への参加希望の有無と、参加したい場合はどの競技を希望するかを明らかにすることを目的とする。
- ・5月～7月の休日の地域クラブ活動体験は、月に1回は実施する方針。

【主な意見等】

- ・部活動存続の有無や地域クラブの拠点校はいつ決まるか。
-1月の意向調査を受けて2月頃に決定する想定。それから拠点校を調整し、完了したら公表する。
- ・大会参加は学校ごとの出場になるのか。
-当面の間は学校ごとの大会参加。地域クラブの大会参加については、中体連以外の大会は可能。
 - ・大学生は4年で卒業してしまうので、継続的な指導とは言えないのでは。
 - ・引退した3年生は参加可能か？引退後は進路を決めることが重要なので、地域クラブへの参加がメインとならないようにしてほしい。
- 今の段階では、3年生は部活動と同じく夏に引退し、その後は参加しない方針で考えている。
 - ・拠点校はどうやって決めるのか。
 - 1校に偏ることのないように、施設面も考慮する。

-民間企業は拠点にならないのか。

-基本的には中学校の施設を利用する想定。すでに地域に開放している施設もあるので、地域クラブとどちらが優先されるかは他部署と協議していく。

- ・特定の部活動があるかは、生徒によっては学校選択のうえで大きな要素となり得るが。

-新中1はどこが会場校か不明のまま入学することになる。

-ほとんどの学校が10月実施の学校説明会で部活動の存続の有無予定を伝えるが、同時に教員の異動によって変更がある旨も説明している。そもそも公立学校の部活動は熱心な顧問の存在に左右されやすく、実際に入学したらその部活がなかったというケースはこれまでもあった。その場合でも、他の面で活躍できる場を設定できるようにするのが学校の責務だと思う。

-従来からある問題だということを、地域や保護者の方々に理解してもらう必要がある。正確な情報を伝達するべき。

- ・1クラブ2名のうち1名は大学生、1名は地域の方、という活用の仕方がいいと思う。
- ・地域クラブでは、区民大会には参加できるか。

-大会ごとに要綱が異なるので確認が必要。

-中体連と区民大会の日が重なったときの対応は慎重に考えるべき。

- ・地域クラブと部活動で競技が異なる場合は、中体連主催の大会に参加できないか。

-区と中体連で協議する機会はなかなかないが、都のヒアリングはあるので、こういった意見は伝えていきたい。

・中体連の大会では二重登録を認めていない。一方で、地域クラブとしてなら複数の競技で参加できるのではないかという誤解が一部にある。そのあたりは、部活動の地域展開をすすめるにあたり、確実に理解をえられるようにする必要がある。

・区が進めようとしている事業の方向性や中体連やそれ以外の団体が主催する大会参加のきまりなど、短期間で保護者等に理解してもらえるか心配である。